

「かニの親子」に学ぶ＝イソップ物語より＝

カニのおかあさんがその子に、
「横にはうものではありませんよ。また、わき腹をじめじめした岩にこすりつけてはいけませんよ。」
といました。子どもは、
「そう教えてくださるおかあさんが、まっすぐに歩いてみてください。私はそれを見て、そのとおりにします。」
と言いました。

親を信用しない子、兄弟げんかをする子、勉強がきらいな子、うそをつく子、わがままな子、強情な子、食いしんぼうの子、ぶしょうな子、なまける子……

どうしたら、このような子どもがつけられるのでしょうか。しかし、私たちは知らず知らずのうちに、こういう子どもをつくられているのです。子どもに欠点があれば、それは私たち大人に責任があるのです。子どもの欠点を責めたり、子どもの教育について論議する前に、私たち自身が子どもに対して、どんな態度をとっているか反省してみようではありませんか。

私がおの昔読んだ「かニの本」（村井実 著 牧書店）は、今も版を重ねているようです。

この本は、イソップ物語の「かニの親子」の寓話をもとに、「子どものしつけ」について書かれたものです。

この本は、目次を読むだけでも私たちの子育てやしつけについての問題が見えてきます。子どもは、私たち親（大人）の鏡です。「人のふり見て我がふり直せ」と言いますが、「子どものふり見て親（大人）のふり直せ」と気づかせてくれます。

では、この本の目次を紹介しましょう。

「かニの本」（村井実 著 牧書店）「もくじ」

1 子どもに嫌われる方法

- 子どもが「ひどい仕打ちだ」と思うようなことをしてあげなさい。
- 自分の夫や妻に対して、子どもが反感を持つようにしむけなさい。
- 子どもが甘えるときやよろこぶときに冷淡にしなさい。
- 子どもに子どもらしい遊びをゆるしてはいけません。
- 子どもをたえずからかってやりなさい。

2 子どもが親を信用しないようにする方法

- 子どもにうそをついたり、だましたりしてやりなさい。

3 子どもに軽蔑される方法

- あなたの欠点を子どもに気づかせなさい。
- しきりに命令して、その通りになったかは気にしないでいなさい。しきりにおどしつづけて、そのおどしを実行しないようにしなさい。

4 子どもに兄弟を憎ませ、嫉妬させる方法

- 兄弟姉妹のうちのひとりだけをかかわりなさい。
- 子どもの一人をしかるときに、必ずもう一人の方を賞めなさい。
- 子どもたちがけんかしても論議だてしないようにしなさい。

5 子どもの人間愛の心を枯らす方法

- 子どもの前でしきりに人の悪口をいいなさい。

6 子どもを残酷にする方法

- 動物の苦しむありさまを見て、よろこばせなさい。

7 子どもに復讐心をいだかせる方法

- 子どもが不機嫌なときは、その不機嫌のはけ口となるものを与えなさい。
- 子どもがあやまってけがをさせられたら、うんとけしかけて復讐させなさい。

8 子どもに嫉妬を教える方法

- 他人の幸福は自分にとっては大変な不幸であると思わせなさい。

9 子どもが他人の不幸を喜ぶようにする方法

- 他人の幸福を憎むようにしなさい。

10 信仰のちがう人を嫌わせる方法

- 自分と同じ信仰をもたない人は、みな神様がお嫌いになるものだと言い聞かせなさい。
- 子どもに適切な模範を示しなさい。

11 子どもを芸術や科学から遠ざける方法

- 自然に対する子どもの興味をできるだけわきへそらせなさい。

12 勉強を嫌いにさせる方法

- 子どもに先生を嫌わせなさい。
- 勉強をむりやりにさせなさい。
- 子どもに先生を軽蔑させなさい。

13 子どもの才能を台なしにする方法

- 子どもが興味もなく、得意でもない職業にむりにつかせなさい。

14 子どもをわがままにする方法

- 子どもの望むことは何でもかなえてやりなさい。

15 子どもをうそつきにする方法

- 小さいときから、つとめてうそをつかせなさい。
- 子どものうそをおもしろがって、それを賞めなさい。
- 子どもの言うことを何もかも信用しなさい。
- 子どもが本当のことを白状したときに罰を加えなさい。
- 話の間にうそをつくきっかけを与えなさい。

16 子どもを不平家にする方法

- 何でも悪い方向からだけ見させなさい。
- 自分のもたないものはみなよいもののように思わせなさい。

17 子どもを強情にする方法

- 子どもの願いを聞き入れてはいけません。ただし、うるさいと思ったら、すぐいうとおりにしてあげなさい。

18 子どもを食いしんぼうにする方法

- ごちそうは実に貴重なものだと思いこませなさい。

19 向上の意欲をなくさせる方法

- よい子になろうとする子どもの努力を無視しなさい。

20 子どもにむだづかいを教える方法

- おこづかいをもたせて勝手につかわせなさい。

21 子どもを馬鹿に育てる方法

- 子どもがあやまちをおかしたら、思い切りぶん殴りなさい。
- 酒におぼれなさい。
- 子どもを早熟にしたてなさい。

22 子どもをぶしやう者にする方法

- 何から何まで手伝ってやりなさい。
- きまりよくしようとする子どもの気持ちをおさえつけなさい。

23 子どもを見え坊にする方法

- 小さい頃からおしゃれをさせて、賞めてやりなさい。
- できるだけ早くから子どもにぜいたくなつきあいをさせなさい。

24 子どもを怠け者にする方法

- 働くことの苦しさ、怠けることの楽しさについてよく話して聞かせなさい。

25 子どもをけちんぼにする方法

- 早くから金銭をありがたがらせなさい。

26 親の教訓を受けつけないようにさせる方法

- 子どもたちの義務について、ひっきりなしに説教しなさい。

27 子どもを悪くする一番手がるな方法

- 教えたいことの手本を繰り返し示しなさい。

※ 「かにの本」の原作は、クリスティアン・ゴットヒルフ・ザルツマン Christian Gotthilf Salzmann, 1744年6月1日 - 1811年10月31日)というドイツの教育者です。日本では、村井実氏訳「かにの本・子どもを悪くする手引き』として出版されました。